

目指す子ども像 ふるさとを愛し、心豊かでたくましい子ども



## 東目屋地区コミュニティ・スクール通信



第6号 平成29年7月18日 東目屋小・中学校 文責(佐藤)

# 小中一貫教育システム

# 中学校の様子がわかりました

中学校で行われた中体連壮行式(6月9日)と生徒会保健委員会の発表(7月11日)を小学校の5・6年生が見学しました。運動部の生徒にとって、地区中体連は県大会や全国大会につながる重要な大会です。選手の人たちの意気込みや全校応援の盛り上がる様子を小学生にも知ってもらうために今年度から実施しました。6年生の藤田楓さんは「初めて見た。せまってくるような



ハイタッチで選手ひとり一人を激励



感想を述べる高杉さんと藤田さん

圧力を感じ、すごいと思った」、高杉鳳雅君は「迫力があり良かった」と感想を述べました。

保健委員会の生徒は虫歯予防について発表しました。パソコンを使って虫歯の割合のデータを提示したり、効果的な歯磨きの仕方を発表しました。途中でゲームで有名なマリオブラザーズの衣装を身につけた生徒がバイ菌の衣装を着た生徒をやっつける場面もあり、児童生徒の笑いを誘っていました。小学校でも保健委員会の発表は行われていますが、中



発表してくれた保健委員会の皆さん



一緒になって聴く小学生と中学生

学生の発表を聴いて6年生の中野然溪君は「虫歯予防のことがよくわかり参考になった」と話しました。りんご栽培体験学習以外にも今年度は、児童生徒の交流の機会を増やして少しでも中学校の様子を知ってもらうような取り組みを行っていきます。

# PTAも小中一緒に活動しました

7月1日(土)9:30～12:00に中学校PTA保体成人部の企画による「そば打ち体験」がBeechにしめやで行われました。生徒児童の交流と同様、小中の保護者も一緒に活動しました。当日は、大人が14名(小6、中8)、子どもが11名(小10、中1)参加しました。

そば粉と水をかき交ぜ、そば玉をつくり、それをめん棒で広げ最後に細く切りました。そば玉をつくる際の水加減やこね具合は大変でしたが、最後は自分たちでつくった手作りのそばを親子でおいしく食べました。



めん棒で広げています



完成品

# 地域とともにある学校づくり

## 地域へ おじゃましました



パインハウス弘前



なかの保育園



くによし保育園



たしる保育園

### 福祉ボランティア体験学習

6月28日、29日の2日間、中学校3年生が4つの班に分かれて地域の施設を訪問し、高齢者や園児との交流を通して福祉・奉仕の精神について学びました。生徒が訪問した施設の職員の方にはお忙しい中、対応していただき、ありがとうございました。各施設からの所見がありますのでその一部を紹介します。

**パインハウス弘前**…少し恥ずかしがり屋の4人でしたが、だんだん慣れてきたら積極的に会話し動いていました。**なかの保育園**…8名の生徒さんは、最初堅さがありましたが、自分から笑

い近づくと園児は受け入れてくれることをすぐ感じ、2日間という短い期間でしたが、園児に好かれて帰って行きました。**くによし保育園**…明るく積極的で、自己紹介も一人ひとり工夫した発表の仕方で、園児たちも注目していました。**たしる保育園**…自己紹介は、子どもたちに聞いてもらうための工夫がされていてよかったと思います。積極的に子どもの中に入っていき、関わりを持つようにすると、より楽しい体験学習になると思います。

## 感謝!ある日曜日の様子

6月25日(日)

この日は、子どものためにたくさんの大人たちが汗を流した一日となりました。まずは、小学

校PTAによるプール清掃が始まりました。子どもたちがきれいなプールで泳げるようにするためです。音楽室では11名の保護者の方が、夏のプール監視に備えて救急救命講習を受講しました。プールで子どもの命を守るための勉強です。体育館と中学校玄関前では、東目屋地区青少年育成委員会の方が、スポーツ&防火の集いを企画・運営してくださいました。子どもたちに体を動かす楽しさを味わわせると共に、火事を防ぐ知識や技能を身に付けさせるためです。目屋分署の方々も協力してくださいました。

さらに、プール清掃を終えたお父さん方は、教室の床の修理やヘチマ用の柵を作ってくださいました。また、この日は別会場でジョーカーズの試合があり、子どもたちに勝利を味わわせるために頑張った指導陣や保護者の方もいました。

これだけ多くの大人たちが「子どものために」同時に活動をしてくれたこと、弘前市全体に教えてあげたいなと思いました。子どものために大人が頑張る東目屋地域。そしてその東目屋地域にある東目屋小学校。地域コミュニティーとのつながりの中で子どもたちの安全が守られ、そしてすばらしい体験を積み重ねていく環境。東目屋の子どもたちは幸せなのだと思っていました。



床を修理するお父さん



酸素ボンベ装着体験 目屋分署